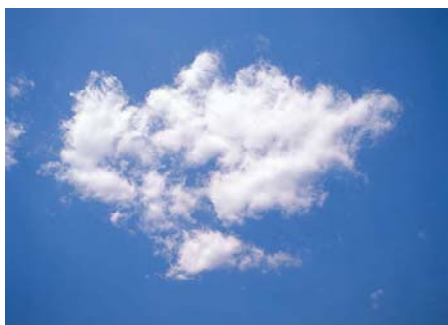


博物館の仕事

博物館では、県内にある貴重な資料（文化財）を後世に伝えていくために、次のような仕事をしています。

①調査・研究。②収集・保存。③展示・公開。④教育・普及。



【収集】

博物館では、寄託・寄贈・購入などの方法によって資料を収集します。資料を博物館で保管する前には、虫やカビを殺すために薫蒸をします。



【調査】

個人のお宅や神社・寺院などの蔵に残されている資料を調査をします。このときは、あまり時間がないので、大まかな調査にとどめます。



【展示】

収蔵している資料を、温度や湿度が一定な部屋（展示室）で展示します。そのとき、資料が傷まないように、展示室を暗くしたりします。



【研究】

収集した資料は時間をかけて調査し、その内容を記録します。資料が傷んでいる場合は、補修などもあります。



【公開】

図録や報告書などを作成し、展示をみれなかった人や後世の人たちに収集した資料の文化財的な価値をPRします。



【撮影】

調査した資料を記録したり、図録に掲載するために、写真撮影をします。



【教育・普及】

博物館に見学に来た人に、展示している資料の前でわかりやすく解説をしたり、皆さんからの質問に答えます。



【教育・普及】

講演会や博物館講座などを通して、調査・研究の成果を紹介します。

開館 10 周年記念特別展

『きのくにの歴史と文化』子ども用パンフレット

発行日 平成 16 年(2004) 4 月 24 日

編集・発行 和歌山県立博物館

〒 640-8137 和歌山市吹上一丁目 4-14

TEL 073-436-8670

<http://www.hakubutu.wakayama-c.ed.jp>